

NEWS LETTER



NO.32

2009.2.1

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山中町 4 - 18 - 22

☎078 - 453 - 5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto

ひろば 10 年をむかえて

自分らしく その人らしく

東灘周辺の食品工場などで働く日系南米人の日本語学習支援　これが「にほんごひろば岡本」を作るきっかけでした。ところが、彼らは昼夜3交代という仕事の都合で、ひろばの時間には来られないことが多く、なかなか学習が進みませんでした。そんな折、兵庫日本語ボランティアネットワークから、彼らの会社の寮に近い御影公会堂での日本語学習の話がもちあがり、協力させてもらうことになりました。毎日曜日の夕刻、お弁当工場で働いている日系ブラジル人の人たちとの二人三脚が暫く続きました。クリスマス会での本当に楽しそうな顔、顔、そして半泣きで感謝の言葉を精一杯の日本語で言ってもらった時の感激が、昨日のここのようによみがえってきます。しかし支援活動が軌道に乗ってきたと思ったのは早計でした。そのうちに、ひとりふたりと休む人が始まりました。勉強したいけれど、急な残業を断ったら辞めないといけなくなるかも知れないし・・・責任者にまでなっていたある若者は、「もっともっと日本語が上手くなって、ほかの仕事もしたい。本当に勉強したい。でも日本語の勉強のために早く帰りたいとは言えない」と話してくれました。外国人労働者のおかれている厳しい状況を改めて実感させられました。その後、学習者が二人になった時、活動を断念しました。最後の一人まで支援できなかったのかという苦い思いと、ちから不足の認識とともに御影教室は幕を閉じました。

日系南米人に就労制限のない在留資格を与えて、単純労働を担ってもらうという日本政府の政策に呼応して沢山の人が来日し、いわゆる3K(きつい、きたない、きけん)労働をはじめとする単純労働に従事してきました。

御影教室や「にほんごひろば岡本」で知り合った日系南米の人たちの中には、来日の目的を果たし帰国した人もいます。より高収入の期待できる職場を求めて、自動車関連や通信機器関連の会社へ移っていった人が沢山います。親と一緒に来日、あるいは、日本で生まれ育った子どもたちも数多くいます。

世界同時不況の嵐が吹き荒れる日本のあちらこちらで、彼ら日系南米人たちは、まっ先に職を失い、人生を狂わされています。帰国するお金欲しさに殺人事件まで起きてしまっています。日本人も大変な状況なのだから、外国の人たちは・・・という声もあります。

企業による派遣切りや契約の中途打ち切り、内定取消しなどが当たり前のように行われる毎日。このことと日系南米人を中心とする外国人労働者の窮状の根は同じものではないでしょうか。製造業への派遣労働などの規制緩和による弊害が、どっと噴き出しています。少子化の日本が、近い将来、様々な分野で外国人労働者を受け入れることになるのは必定です。日本人、外国人の区別なく、真面目に働いてい

る者が、当然の報酬を受け、健全な市民生活のできる権利を持つ「あたりまえの国」になるのが「希望ある日本の将来」へと繋がるのではないのでしょうか。

外国人を地域の隣人として、ごく自然な付き合いのできる日本がやって来ると信じて、日本語学習支援の活動を続けていきたいと思っています。その形は様々、学習者の数だけ、支援者の数だけあっていいと思います。

日本語ができないことによる不利益がないように基礎日本語の学習支援を。

日本社会になじめないで閉じこもっている人には気軽におしゃべりができる場の提供を。

日本語と母国語を生かして同胞の役に立ちたいと思っている人には励ましと勇気づけを。

日本の学校で学んでいる小学生や中学生には教科のサポートや進学問題の相談を。

留学生には日本のありのままの姿を知ってもらい、母国との懸け橋に。

などなど、色々な支援の形があります。

支援者が「自分らしさ」を大いに発揮して生き生きと活動する時、学習者は言葉の壁を越えて「その人らしく」生き生きとした表情を見せてくれるでしょう。

(西村佳子)



バーベキューパーティー

(2008年10月18日 芦屋奥池遊びの広場)

ひろばで一番人気のイベント BBQ パーティーが10月18日、快晴の土曜日、芦屋奥池の遊びの広場で行なわれました。

紅葉には少し早すぎましたが、皆さん食事や会話に花も咲き、普段会えない学習者や支援者との交流ができました。なつかしい「ハンカチ落としゲーム」



や子どもたちが中心の「借り物競争」など、秋の一日を楽しく過ごしました。



2008年 年忘れお楽しみ会

(2008年12月21日)

ひろば恒例の年末のイベント、年忘れお楽しみ会が12月21日、行なわれました。今年も多くの人に参加してくださり、なんと85人にもなり、大盛況でした。

たくさんの食べ物・飲み物が用意され、にぎやかなテーブルになりました。



支援者の手作り料理のほか、学習者も自慢のお国料理を持ってきてくださり、珍しい料理にみなさん大喜びでした。今年のパーティーは、昨年も一昨年も参加して下さった高山先生指揮「ボイス・アーツ・アンサンブル」のみなさんによる合唱でスタートしました。『U&I』の手話付の歌唱指導もあり、次回のお楽しみ会までの宿題になりました。



り、次回のお楽しみ会までの宿題になりました。

飲食・歓談の後、お楽しみ会恒例の「スピーチ大会」です。参加者は10人で、子どもたちが4人も参加してくれました。興味深いもの、おなかを抱えて笑ってしまうもの、自作のお話を小道具を交えての発表など、とても充実したものでした。最優秀者は楊潤洲（ヤン・ジュンシュウ）くん、今回から設けられた聞いている人たちの投票による「オーディエンス賞」はカリンさん親子に輝きました。



次はまたまた恒例になりました、学習者によるパフォーマンスです。

子どもたちのヴァイオリンやリコーダ、歌などに支援者たちも加わって演奏しました。続いて、中国出身の孫さん親子が素晴らしい詩に合わせて「手話」を披露してくれました。最後はご存知ヴィットさんのブレイクダンスです。今年は新妻の知っているなかですから、気合充分のダンスでしたよ。



最後に、みなさんご存知のマイケルさんによるゲームが展開されました。リンボーダンスゲームでは、パナマ帽にアロハシャツと短パンと衣装もバッチリでした。本当にご苦勞様でした。

次回のお楽しみ

み会はどんなサプライズがあるか、みなさん今から準備してどんどん参加してください。



スピーチ大会出場者の横顔

1. 渡辺サツキちゃん（フィリピン）

「日本の学校には初めてがいっぱい」

漢字が大好きなサツキちゃん、学校での休み時間のお友達とのおしゃべりも楽しそうですね。支援者の金田のおねえさんのアドバイスの通り、大きな声でいつもの笑顔でしたよ。



2. クォン・ヨンソちゃん（韓国）

「私の夢」

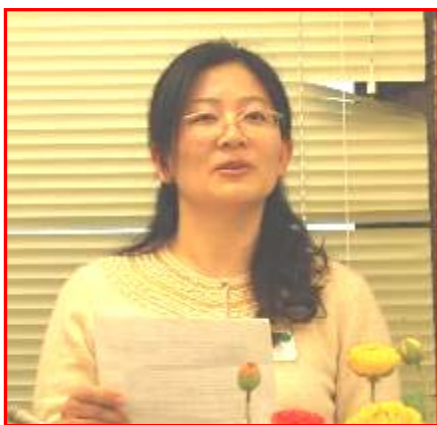
色々な国で生活してきたヨンソちゃん、小さい頃はカンガルーになる夢をもっていた彼女の今のゆめは「国際弁護士」です。志を高く持って頑張ってください。

3. ジョン・ミンヘちゃん（韓国）

「私の夢」

お楽しみ会ではすてきなヴァイオリン演奏を披露してくれました。夢は「ピアニスト」ですね。DREAMS COME

TRUE！！



4. カク・シュンライさん（中国）

「夢」

少女の頃から現在までの自分史を語りながら、夢に向かって暮らしている様子がとてもよく分かりました。夢をあきらめないでくださいね。

5. ヤン・ジュンシュウくん（中国）

「楽しい日本の生活」

背がとっても高いので朝礼では「黒だらけ」とか中国語と日本語のちがいでお母さんが「娘さん」になったり、とっても楽しいスピーチでした。希望の高校に入学できるように頑張ってください。

最優秀賞、おめでとうございます。



6. ジニーさん (台湾)

「便利な国」

主婦らしく、日本の家電に興味を持ち、帰国時の荷物は大変ですね。
「コタツ」を持って帰るときは、「みかん」も忘れないようにね。



7. ダニエル・ウェンさん (台湾)

「日本人の一つの習慣」



当日はテーブルでの参加でした。

日本特有の贈り物の習慣、いろいろ勉強になったようですね。コミュニケーションツールの一つですから、良いところは真似してみてください。次回は是非ライブでお願いします。

8. 大場ナルモンさん (タイ)

「わたしのかぞく」

「宇宙人」の娘さんとの生活、
すごく楽しそうですね。どんなに変身するかこれからも楽しみにしていますよ。



9. ファン・スジンさん (韓国)

「よみきかせ」

日本に来たばかりなのに、積極的に参加してくれました。
イラストが可愛い自作の「紙芝居」、みなさん楽しんでいました。

10. カリンさん (スイス)

「お月さまのクリスマス」

二人の娘さんも大道具、小道具をキ
ュートに使いこなして、自作の物語で
とても感動しました。準備も大変だっ
たでしょうね。

カリンさん手作りの「お月さまのク
ッキー」ごちそうさまでした。

「オーディエンス賞」おめでとうございます。



支援者・学習者紹介

佐々木五十四さん

イム・ヒョンソップさん（韓国出身・男性）

真面目に雑談

“五十四”この名前には長年苦労させられました。「いそし」と読みます。一昨年3月定年で退職し、ある理由から日本語教育のボランティアを第2の人生の一つの目的、目標にしようと決めました。約1年間、通信教育で学習し昨年はじめここ“にほんごひろば岡本”で活動させてもらっています。まだ初心者で右も左もわかりませんが経験を積み、少しでも困っている人



の役にたてるようになればと思っています。

そんな初心者に当たった気の毒な学習者を紹介します。韓国から神戸大学に留学しているイム（林）さんです。

25歳の好青年で、なによりその優秀さにびっくりしています。日本への留学前に韓国で学習し、日本語能力試験の3級に合格、現在は来年大学院に進むための条件である1級を目指して日本語を学習しています。8カ月韓国で学習して日本に来て約半年ですが、どうすればこんな日本語レベルになるのかびっくりするほどの会話力です。流暢な日本語で動詞や形容詞の活用、助詞はほとんど間違いません。しかし会話している時、語彙には苦労しているようです。

日本語能力試験1級の対策は日本語教室に通

うことと独学で対応するそうです。

そんな彼に何を教えるか？彼はここで何を期待しているのか？

彼の日常生活では日本語をしゃべる機会がほとんどなく、日本語のしゃべる機会がほしいので、ひろばに来ているとのこと。故に彼は雑談を希望しており、毎週90分雑談するだけで、あまり“教えている”という感覚はありません。彼の日本、日本人に関する疑問点をテーマにすることにしています。

「日本人は 食事の途中にたばこを吸うひとがいる。おかしいのでは？」

「毎日耳にする大阪弁をおしえてほしい。」「日本の牛乳はまずい。おいしいのは高い」

「～んです。」はどんなときに使うか？」等々です。時々、語彙の説明、発音の指摘をしています。支援者1年生には最適の学習者といえます。

少しでも、彼の日本語学習に役立つように真面目に雑談したいと思っています。

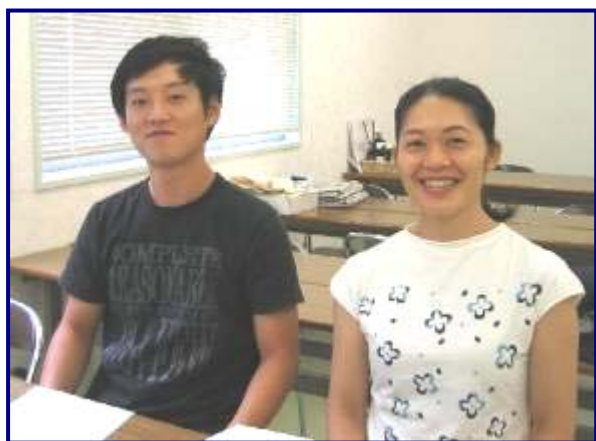
内山茉莉子さん

ベー・ヒョンジンさん（韓国出身・男性）

中身も男前

ベーさん。同じ日に申し込みに来た「男前三人衆」の一人です。ベーさんは中身も男前。とても紳士です。

2008年3月から神戸大学海事科学部で主



に船のエンジンの修理について学んでいます。

支援している私は2008年1月にひろばに来ました。2歳の子を託児所に預けて毎回来ていますが、子どもは大好きな保育士さんと、私はベーさんとそれぞれ有意義な時間を過ごしています。

ベーさんの一日はとても長く忙しい。朝7時に起きて学校へ。平日は夜中の12時ぐらいまで勉強し、その後は毎晩先輩達と楽しい宴会です。彼はアルコールの中でもサントリープレミアムモルツが大好きで、軽く6缶はいくそうです。おつまみは先輩特製のサムゲタンをはじめとする韓国料理。

日頃の食事料理も料理上手な先輩におまかせして、彼は買い出しと食器洗いが担当です。そんな日常なので寝るのはたいてい2時ぐらいなのですが、その合間にパソコンで日本の映画やドラマを観て、そしてもちろん日本語の勉強もしています。時間の使い方がとても上手です。

来日前にカタカナとひらがなを勉強していたものの、会話はあまり出来ませんでした。それが今では冗談も言えるくらいになり、素晴らしい上達ぶりです。

日本での生活は、韓国より何でも少しずつ物価が高いのと日本人の友だちとの価値観の違い（飲みに行ったときのお店での料理のオーダーの仕方、目上の人に対する態度）もあり「ちょっと大変」と感じているようですが、それでも日本が大好きで2009年3月に一度韓国へ帰り、今の大学を卒業後、日本の大学院に入って将来的には日本での就職を考えています。

先のことまでしっかりとした目標を持っていて、私も色々勉強になりました。

3月まであとわずかですが、再来日したらまたにほんごひろば岡本で一緒におしゃべりしたいです。そのときは「男前何人衆」で来てくれるのでしょうか、楽しみにしています。

下村千恵子さん

カン・ビョンス君（韓国出身・男性）

天才？との楽しい90分

はじめまして・・・下村です。

最初は、「自分が普段話している日本語を教えるんだから・・・」と安易に考えて踏み込ん



だ日本語教師の世界でした。420時間の講義を重ねる中で、そのあまりの奥深さにタジタジとなりながら、でもだからこそ、なお興味深く思えて・・・ここまで投げ出さずに続けてきました。今は、まだ昼間の仕事に追われる身ですが、週2回、夜間のプライベートレッスンを通して、この日本語の仕事をライフワークにできればいいな・・・と感じています。

さて、ここ「にほんごひろば岡本」での私の生徒さんはインターナショナルスクールの中学2年生、韓国人のカン・ビョンス君です。

カン君は自称「天才」・・・。いえ、本当に頭がいいんです。でも、「努力は嫌い・・・」と本人が言うように、テキストで学習したり、ドリル練習はちょっと苦手・・・。

話好きで、いつも free talk でたくさん話をしてくれます。ただ free talk だけでは、どうしても自分の知っている語彙や文法だけを使った会話に偏りがちです。

支援者の私としては、何とか基礎を固めて新しい語彙や文型を導入したいと、「よし、今日はこれ」と狙いを定めて、カン君との talk に臨むのですが、カン君の中学生に似合わぬワイ

ン談義？ いえワインに合う簡単スナックの作り方などを聞いているうちに、呑兵衛の私はいつの間にか話に飲み込まれて・・・つい当初の目標を見失ってしまうのです。

そんなカン君との時間ですが、先日、突然「先生、動詞のグループ分けがわかりません。て形はどうして作りますか。ない形は・・・辞書形は・・・た形は・・・」と矢継ぎ早に質問が飛んできました。

実は彼は、ひろばとは別に週3回日本語の教室に通っているのです。そこでも友人たちと楽しく学んでいる様子ですが、その楽しさに反して、授業では疑問がどんどん膨らんでいたようです。私は「だから～基礎から、ちゃんと積み上げていくのが大切なんだから・・・」と心の中でつぶやきながら、ルールを示すと、そこは天才・・・。

あっさり「ああ～わかったぁ・・・た～のし～い」とあっという間に覚えてしまいました。気をよくした私が、さらに変換練習をしようとする、「practice はいいです」といつものようにサラリとかわされてしまいましたけれど・・・。

でも、そんなカン君とのかかわりの中で、あらためて感じたこと・・・それは「わかることは楽しいこと」という学習の基本と、指導者(支援者)の一方的なひとりよがりの押し付けでは、授業は立ちゆかない・・・ということです。

「自ら知りたいと思った時が、学びのチャンス」という言葉があるように、学習者に求められたときに、必要なことを過不足なく適切に伝えることができたら・・・それこそが本物の指導者の力なのではないか・・・と改めて教えられました。

いつの日か自分はそんな指導者になれるだろうか・・・。

カン君と向き合いながら自問し、そして・・・結局、毎回落ち込む週末の私です。

泉 尚子さん

ジニーさん(台湾出身・女性)

テレビドラマの話に花が咲きます

初めまして。一昨年6月から、にほんごひろば岡本の活動に参加している 泉 尚子です。

私は結婚後、アメリカに8年間住んでいました。英語が得意でアメリカに行ったわけではなく、生活し子供を産んで育てるのに言葉がわからないのは本当に大変でした。なんでもない



言い回しがわからない、正しい文を言っても発音が悪くて通じない、というようなことがたくさんありました。辞書を開かない日はないくらい、銀行、病院、美容院、パーティーなど行く前に下調べをして行くけれど、行ってみると予想外のことを聞かれたり、わからない単語を言われたりして、外出するのが嫌になることもしばしばでした。子供が大きくなってくると、子供の先生とも話をしたり、他の父兄と雑談したりしなくてはいけなくて、英語の苦手な私は、毎日冷や汗の連続。言葉の大切さを改めて感じ

ました。そんな思いをした経験を生かせるかと思ひ、この活動に参加することになりました。日本にきた外国の人達に、快適な生活をして欲しい、日本をもっと好きになってほしいと思っています。

今、私が一緒に勉強しているのは、台湾出身のジニーさんです。彼女は、日本人男性と結婚し、一昨年の5月に日本にきました。でも、ジニーさんは高校生のときに日本語を学校で習っていたため、ひらがなもカタカナも読め、話をするのも上手でした。

台湾では日本のテレビドラマなども放送されているので、2人で昔のドラマの話で盛り上がり、1週間にあったことを話して、気が付いたらテキストが進んでいないということもしばしば。でも、こういう日常会話が一番必要だと思っているので、大いに楽しんで会話し、その中で出る疑問について2人で話し合っています。

ジニーさんは、お菓子作りが得意で、料理も上手。茎わかめのつくだにを作ってくれたのには、感動しました。

ひかえめで、同居しているご主人のご両親にとっても可愛がられているチャーミングな女性です。

日本がとても好きと言ってくれるジニーさんが、日本で嫌な思いをしないように支援していけたらと思っています。みなさんもジニーさんを見かけたら声をかけてあげてくださいね。
(ジニーさんと一緒に写っているのは泉さんの娘さんです。)

学習者紹介

ジョ・ギョチュンさん(韓国出身・男性)

エキサイティングな散歩を楽しんで

ジョさんは神戸大学海事科学部の研究熱心な留学生です。

一昨年日本に来て、その当時私と一緒に勉強していたジョさんの先輩の紹介でひろばにきました。

最初は、一緒に写真に写っている矢崎さん(写真左)と勉強していたのですが、彼女が北京に行くことになり昨年夏から私と勉強を始めました。

韓国で日本語を少ししか勉強していないと言うわりにはきちんと日本語を話すので、上達が早いなぁと感心していたのですが・・・日



記を宿題に出すようになってから??と思うことがいくつかありました。

カタカナが書けなかったり、簡単な形容詞が分からなかったり、て形に出来なかったり、というか完全に忘れてしまっていたり・・・

いちばん驚いたのが、ひらがなの「り」を「い」みたいに書いていたことがありました。

本当にそれで正しいと言い張るので、私はひらがなのテキストを持ってきて、「『悪い例』に書かれている字がジョさんの書いたのと一緒にですよ」と言って見せたら「これコピーしてください。家で練習してきます」と素直に認めて、その日はマスつきの練習プリントを持って帰りました。

あと驚いたことがもうひとつ。

ジョさんとランチをしに行った時のことです。ひろばから山手幹線に出た瞬間、ジョさんは足を止めて、「えー!」と言って辺りを見回していました。

今まで一回もひろばより山側に来たことが

なかったらしく、「すごくきれいですね!」「おしゃれですね!」「若い女の子がいっぱいいますね!」「ご飯食べるところも、スターバックスもあるんですね!」とかなり興奮しながら歩いていました。そして「先生、とっても感謝します!」とまで言われました。

私はジョさんの数々のリアクションにびっくりしましたが、ただ一緒に歩いていただけでこんなに喜んでもらえるなんて、とこの時思いました。

そんなジョさんと勉強できるのもあと少しですが、楽しく色んな勉強をしていきたいです。
(中禮かおり)

モ・ヒョンスクさん(韓国出身・女性)

キムチが苦手とはビックリ

モさんは 2006 年 5 月に来日、2016 年まで滞在の予定だそうです。

10 年間の日本での生活! ということで、日本語はもちろん、日本の文化や習慣にも興味をもち、とても意欲的にチャレンジしています。

日本語学習はひろばのほかに「ACA」でも週 1 回のレッスンを受けていますので、日本語

能力試験への受験も希望しているので問題集中心に勉強をしています。

勉強のほかに中学生の息子さん(7 ページで紹介のカン君)や高校生の娘さんのこと、お料理、ゴルフ、ショッピングなど、同じ主婦・母親としておしゃべりもたっぷり楽しんでいきます。

そんな取り止めのない会話の中から「使える日本語」が少しでも増えれば...と毎回ネタ探しを心掛けています。

彼女の好物はお寿司やうどん、苦手なものは



なんと「キムチ」だそうでビックリです。

今、興味があるのは「いけばな」だそうで、日本人の私より上手になるかも.....

(吉岡恵子)

みんなのひろば

【山口さんの個展に行ってきました】

支援者の山口禎子さんの個展がトアギャラリーで開かれました。

「だいちゃんしょう」というテーマで抽象絵画作品が 10 数点展示され、山口さんの雰囲気そのもののゆったりと癒される素敵な絵画展でした。

スペインを旅行されたときのものや、布を一部使ったものなど、素晴らしい作品ばかりでした。

2 月末まで、ギャラリーのホームページで作品が見られるそうです。トアギャラリーで検索してみてください。

学習者のひろば

【張 小燕さん、ママになりました】

昨年末のお楽しみ会に大きなおなかで参加してくれた張小燕さん、1月19日に女の子を出産しました。名前は瑞希ちゃんです。4068グラムで病院で一番大きな赤ちゃんだったそうです。暖かくなったら、ひろばに瑞希ちゃんと遊びに来てくれるそうですよ。

小燕さん、おめでとうございます。



お知らせ

【ひろばの図書館・新しい本が入りました】

今年から「日本語能力試験」が年2回実施されることになりました。ひろばの仲間もこの試験に挑戦する人が増えてきました。そこで3級と4級の文法総仕上げのテキスト（英語版・タイ語版）を用意しました。どんどん利用してください。

また、こどもたちには是非読んでもらいたい本も入れました。『にほんごよむよむ文庫』です。レベルが1から4まで、昔話・名作・落語まであります。CD付きです。

ボーナス ショット

†2008年の2ショット†

2ショット+1



この距離は大人の距離？



ラブラブな距離



CONTENTS

BBQ・お楽しみ会の *PHOTO・REPORT*2

スピーチ大会出場者の横顔4

支援者・学習者紹介 佐々木五十四さん イム・ヒョンソップさん6

内山茉莉子さん ベー・ヒョンジンさん6

下村千恵子さん カン・ビョンス君7

泉 尚子さん ジニーさん8

学習者紹介 ジョ・ギュチュンさん9

モ・ヒョンスクさん10

みんなのひろば10

学習者のひろば11

お知らせ11

〔編集子のつぶやき〕ひろばの活動もこの春から10年目になります。「継続は力なり」の言葉を実感する、巻頭言に感動しました。これからも支援者・学習者ともにがんばっていきましょう。Yさんから年末のお楽しみ会に向けて、「ひろばバンド」の練習をしようとハッパをかけられました。曲選びに楽器店に行ってきた～す。(I・M)